iriver

F700

GETTING STARTED

取扱説明書

はじめに

iriver F700 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は FM ラジオも聴けるデジタルオーディオプレーヤーです。パソコンやオーディオ機器から音楽ファイルを転送し、どこへでも音楽を持ち歩いて聴くことができます。また、録音機能によりボイスレコーダーとしてお使いになることもできます。
本書では、iriver F700 の取扱上のご注意をはじめ、操作方法などを説明しています。iriver F700 の機能を最大限に活用していただくために、必ず本書をお読みになり、正しくご使用ください。

F700 は iriver Music Manager と共にお使いください。

iriver Music Manager を通してデジタル音楽や CD の楽曲をパソコンに取り込めます。iriver Music Manager を使用すると、効率良く音楽を取り込んで管理できます。

注意

・本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
・本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
・本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
・記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

著作権、認可、登録商標、免責事項

著作権

iriver 社は、本書に関するすべての特許権、商標権、文書権、および知的所有権を所有しています。iriver 社の承諾を得ていない場合は、本書のいかなる部分も複製することができません。違法な方法で本書を利用した場合は、罰せられることがあります。知的所有物を含むソフトウェア、オーディオ、およびビデオは著作権法および国際法によって保護されています。ユーザーが本製品によって作成されたコンテンツを複製または配布する場合、その責任はユーザー自身が負うことになります。本書中の例で使用する会社、組織、製品、個人、およびイベントは実際に存在するものではありません。iriver 社は、本書を利用して、本製品を特定の会社、組織、製品、個人、およびイベントに結び付けようとは考えておりません。また、本書の内容から何らかの別の意味を導き出そうとも考えておりません。お客様には、著作権や知的所有権を遵守していただく必要があります。

認証

本製品は以下の認証規格を取得しています。
CE、FCC、MIC

登録商標

・iriver は、大韓民国およびその他の国における iriver Limited の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
・Windows XP、および Windows Media Player は、Microsoft 社の登録商標です。
・その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

免責事項

お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたために人身事故や他の損害、偶発的な被害を受けた場合、製造者、輸入業者、および販売店は、このような損害に対して責任を負いかねます。本書の情報は現行の製品仕様に合わせて作成したものです。
製造者である iriver 社は、本製品に新機能を追加しており、今後も引き続き新技術を適用して参ります。予告なく、仕様を変更することがありますので、ご了承ください。

取り扱いについてのご注意

製品関連

1　重いものを製品の上に置かないでください。
2　湿気やほこりの多い場所、煙のかかる場所は避けてください。
3　製品が濡れた場合は絶対に電源を入れないで、サポートセンターまでお問い合わせください。
4　2 つ以上のボタンを同時に押さないでください。
5　直射日光の当たる場所や温度が極端に高い／ 低い場所は避けてください。
6　製品を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
7　化学薬品や洗浄剤は製品の表面の変色や破損の原因となるため、使用しないでください。
8　幼児、ペットの近くに置かないでください。
9　製品を分解、修理、改造しないでください。
10　データの転送中は USB ケーブルを取り外さないでください。

イヤホンで聴くときのご注意

1　自転車、自動車、オートバイなどの運転中にヘッドホンやイヤホンを使用しないでください。
2　歩行中、特に横断歩道を渡るときは、ボリュームを下げてください。
3　ヘッドホンやイヤホンを使用する際は、ボリュームを下げてください。
4　耳鳴りを感じたら、ボリュームを下げるかまたは使用をおやめください。
5　ヘッドホンやイヤホンのコードが電車や車のドアなどに挟まれることのないよう、きちんとまとめておいてください。

目次

準備する

付属品の確認

本体のほかに以下の付属品が含まれていることをご確認ください。



イヤホン



USB ケーブル



インストール CD



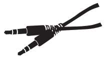
取扱説明書
保証書



乾電池（単 3 形）



ネックストラップ



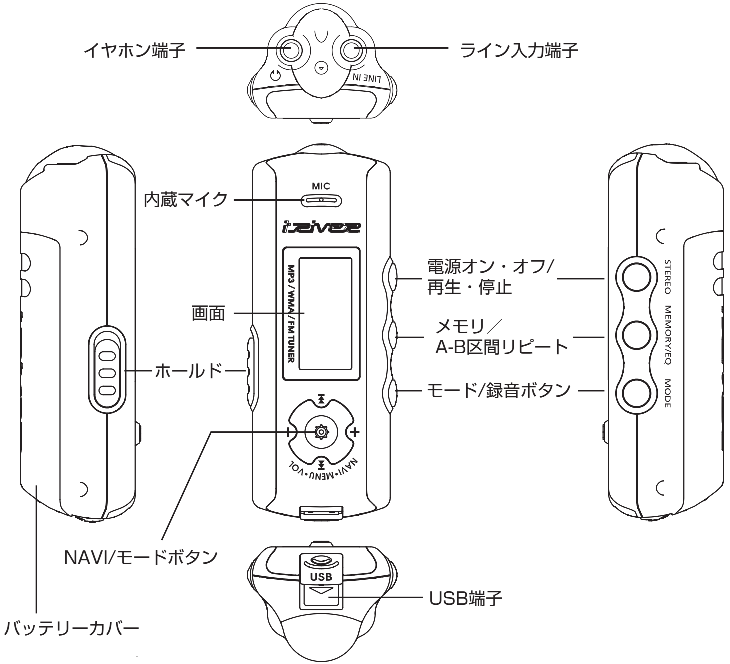
オーディオケーブル

必要なコンピュータのシステム構成

・300MHz 以上の CPU プロセッサを装着した Windows マシン
・Windows® 2000/XP
・USB 2.0 または USB 1.1（USB 1.1 はパソコン側が認識しない場合があります）
・インターネット接続環境（ブロードバンド推奨）
・CD-ROM ドライブ
・ハードディスクの空きスペース 10MB

各部のなまえ

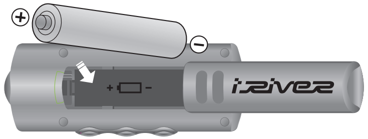
図は実際のプレーヤーと多少異なる場合があります。



電池の交換



①バッテリカバーを開ける



②単３形乾電池の＋とーを
　正しくをいれる



③バッテリカバーを閉める

＊ プレーヤーを長時間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。
＊ 使い切った電池はすぐにプレーヤーからから取り出してください。
＊ 万が一、電池が腐食・液漏れしてしまったら、乾いた布でバッテリ入れの内部を拭いて、新しい電池と交換してください。その際、直接皮膚に触れないように注意してください。

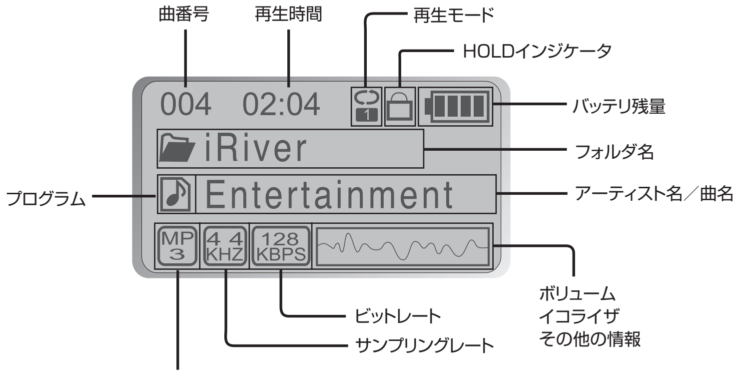
操作の基本

プレーヤーの電源をオンにする	STEREO	押す	次のフォルダを再生する		１度押し、次に長押し
再生する	STEREO	押す	前のフォルダを再生する		１度押し、次に長押し
モードを変更する (MP3 → FM →音声録音→ ライン入力)	MODE	長押し	早送りする		長押し
停止する	STEREO	押す	巻戻しする		長押し
次の曲に進む		押す			
前の曲に戻る		押す	プレーヤーの電源をオフにする	STEREO	長押し

＊「長押し」とはボタンを２秒以上押して操作することです。

画面表示について

■ MUSIC モード画面



ファイル形式

- ASF ▷ ASF
- WMA ▷ WMA
- IRM ▷ IRM
- OGG ▷ OGG
- MP3 ▷ MP3

＊ VBR には非対応

iriver Music Manager をインストールする

プレーヤーをパソコンに接続する前に音楽ファイルの転送に必要な iriver Music Manager をパソコンにインストールします。

＊パソコンの OS が Windows 2000 ／ XP の場合はアドミニストレーターレベル（管理者レベル）でログインしてからインストールを実行してください。

❶パソコンの CD-ROM ドライブに付属のインストール CD をセットします。

CD-ROM が自動認識され、インストールメニューが表示されます。
表示されない場合は「setup.exe」をダブルクリックしてください。

❷画面のメッセージにしたがって手順を進めます。

＊設定言語の選択で「日本語」を選択します。



❸インストールの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

デスクトップに iriver Music Manager のアイコンが表示されます。
これで、音楽ファイルを管理するための専用ソフトウェア iriver Music Manager がインストールできました。続いてプレーヤーをパソコンに接続します。プレーヤーをパソコンに接続する際は、再生が停止している状態で行ってください。

新しいハードウェアのインストール

＊ Windows® 2000 では、これ以外にドライバをインストール必要がありません。
＊新しいハードウェアのインストールは、iriver Music Manager をインストールした後に行います。

❶CD から iriver Music Manager をインストール後、パソコンにプレーヤーを接続すると、「新しいハードウェアが見つかりました」メッセージが表示されます。

❷「ソフトウェアを自動的にインストール（推奨）を選択し、「次へ」をクリックします。
＊コンピュータが自動的に新しいハードウェアの検索を開始します。

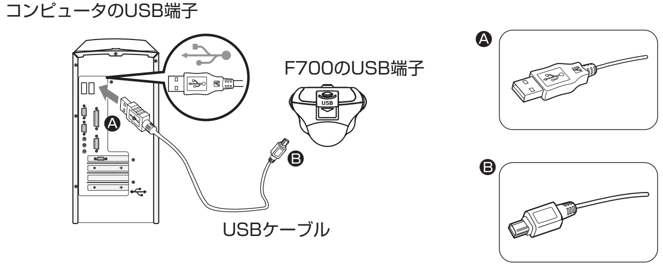
❸「ハードウェアのインストール」警告メッセージが表示されたら「続行」をクリックします。（Windows® XP の場合）。
iriver ソフトウェアがパソコンに悪影響を及ぼすことはありません。

❹インストールが完了したら「完了」をクリックします。

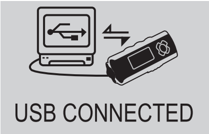
❺新しいハードウェアが正常にインストールされ、使用可能な状態になったことを知らせるメッセージが表示されます。

パソコンとプレーヤーを接続する

❶本製品に付属のケーブルを使用してプレーヤーとコンピュータを接続します。



❷プレーヤーの電源をオンにします。「USB で接続中」と表示されます。
❸「USB CONNECTED」とプレーヤーの画面に表示されます。



＊ USB2.0 を推奨しております。USB1.1 では認識しない場合があります。
＊ エラーを避けるために、再生を停止してから接続してください。

プレーヤーをパソコンから取り外す

❶タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



❷「iriver F700 を安全に取り外します」をクリックします。

＊表示されるメッセージは異なる場合があります。

❸「ハードウェアの安全な取り外し」メッセージを確認し、USB ケーブルを取り外します。



＊USB ケーブルを取り外すときには、静かに引き抜いてください。

＊「使用中です．…」のメッセージが表示されている間は、USB ケーブルを取り外さないでください。F700 本体や保存されたデータが破損するおそれがあります。

CD から音楽ファイルを作成する

WMA/MP3 ファイルへ変換

オーディオ CD をパソコンにセットして、Windows Media Player10 で音楽ファイルを作成します。(Windows Media Player11 には対応しておりません)

準備 オーディオ CD を音楽ファイルに録音する前に Windows Media Player の「音楽の取り込み」の設定を行ってください。

❶「ツール」―「オプション」を選択します。

❷オプションダイアログの「音楽の取り込み」タブをクリックします。

❸オーディオ CD から録音するときに作成される音楽ファイルの設定をします。

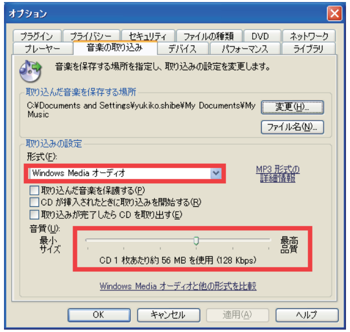
WMA ファイル	「形式」リストボックスは「Windows Media オーディオ」を選択します。 「音質」スライダは 128kbps 以下に設定します。
MP3 ファイル	「形式」リストボックスは「mp3」を選択します。 「音質」スライダは 128kbps 以下に設定します。

❹「OK」ボタンをクリックします。

＊「取り込んだ音楽を保護する」のチェックを外しておくと、著作権保護が解除された状態で WMA ファイルを作成します。

＊著作権保護された WMA ファイルは、プレーヤーに転送するには Windows Media Player 10 以降の Windows Media の著作権保護に対応したソフトウェアの転送機能を使用する必要があります。また、著作権保護された WMA ファイルを他のパソコンで再生することはできません。

＊Windows Media オーディオ可逆圧縮には対応しておりません。また、「Windows Media オーディオ(可変ビットレート)」に設定して録音したファイルはプレーヤーで再生できない場合があります。音質の設定を変更してファイルの作成をしてください。



■オーディオ CD を録音する

❶オーディオ CD をパソコンの CD ドライブに挿入し、Windows Media Player の「取り込み」タブをクリックします。

＊CD のトラックリストが画面に表示されます。

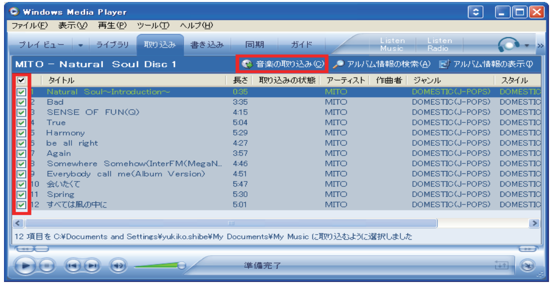
＊インターネットに接続している状態で録音をすると、楽曲情報が自動的に表示されます。

❷取り込む曲をチェックします。

❸「音楽の取り込み」をクリックします。

＊録音された音楽は［マイコンピュータ］ー［マイドキュメント］ー［マイミュージック］フォルダに保存されます。

❹取り込まれた楽曲は「ライブラリ」に登録されます。



CD から音楽ファイルを作成する

Ogg ファイルへ変換

オーディオ CD をパソコンにセットして、iriver Music Manager で音楽ファイルを作成します。

＊再生中は録音できません。音楽の再生を停止してから録音してください。

＊録音された音楽は、ライブラリの［すべての音楽］に追加されます。

＊録音された音楽は、Ogg 形式のファイルでパソコンの「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」フォルダに保存されます。

❶オーディオ CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

❷iriver Music Manager を起動し、プレーヤーとパソコンを接続します。

❸「ツールメニュー」から「音楽 CD 録音ウィザード」を選択します。

❹画面表示に従って進みます。

＊ CD が入っているドライブを選ぶ

＊ 音楽 CD の情報を入れる

＊ 変換する曲を選択する

＊ 出力フォルダを作成し、音質を選択する

❺音質選択で「ABR, Q4:128Kbps」に設定します。

❻ファイルの変換が開始されます。

＊音質の設定は [ABR]、[Q4:128Kbps] に設定してください。

＊音楽 CD によっては、下記の設定でも「Not Supported」と画面に表示され、再生できないことがあります。その場合は、[ABR]、[Q5:160Kbps] に設定しなおしてください。

音楽ファイルをプレーヤーに転送する

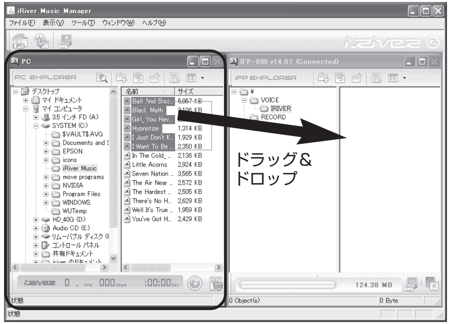
iriver Music Manager を使用して転送する

準備 付属の USB ケーブルでパソコンとプレーヤーを接続し、iriver Music Manager を起動します。

❶パソコンの音楽ファイルが保存されているフォルダを開きます。

❷プレーヤーに転送するフォルダ、またはファイルを選び、右側の「プレーヤー」にドラッグ＆ドロップします。

❸ファイルの転送が開始され、プレーヤー側にファイルやフォルダが追加されます。



＊フォルダの下層に新しいフォルダを作成することにより、フォルダを階層化できます。フォルダ数 500、ファイル数 1000、最大８階層のフォルダに対応しており、プレーヤーでツリー構造に表示することができます。

＊プレーヤーには「VOICE」「RECORD」フォルダがあります。これは、音声録音や FM ラジオの録音などで生成された音声ファイルを保存するために用意されているものなので、音楽ファイルは、それ以外の場所にドラッグ＆ドロップすることをおすすめします。

音楽を聴く

プレーヤーの電源をオンにする

ボタン操作 電源ボタン ▶\■ を押す

＊電源がオンにならない場合は、ホールドが解除になっているかどうか、またバッテリ残量が不足していないかどうか確認してください。

プレーヤーの電源をオフにする

ボタン操作 電源ボタン ▶\■ を長押し

＊長押し＝２秒以上押すことです。

音楽を再生する

ボタン操作 ⚙ボタン

曲を探して再生します。

❶⚙ ボタンを押して楽曲リストを表示します。

❷曲を探す

⏮：上の階層に移動／⏭：下の階層に移動

＋／－：フォルダ内を移動

音楽リスト画面から出るには ▶\■を押します。

❸⚙ ボタンで決定します。

■再生中の基本操作

⏮：前の曲を再生／⏭：次の曲を再生

⏮ 長押し：巻戻し／⏭ 長押し：早送り　→巻戻し・早送りのスピードは変更可能です P.32

＋／－：音量の調節

再生モードを設定する

ボタン操作 音楽再生中に●ボタン

❶音楽の再生中に●ボタンを押して、再生モード選択画面を押します。

❷設定したいモードになるまで、繰り返し●ボタンを押します。

再生モードの種類は下記の通りです。

1 曲を繰り返し再生	1
フォルダの中のすべての曲を再生して停止（サブフォルダは含まない）	D
フォルダの中のすべての曲をリピート再生（サブフォルダは含まない）	D
すべての曲をリピート再生	A
プレーヤーの中のすべての曲をランダム再生	SFL
曲をリピート再生し、次の曲に進むとランダム選曲しリピート再生	SFL 1
フォルダの中のすべての曲をランダムに再生し停止（サブフォルダは含まない）	SFL D
フォルダの中のすべての曲をランダムにリピート再生（サブフォルダは含まない）	SFL DA
すべての曲をランダムにリピート再生	SFL A
イントロ：各曲の最初の 10 秒を順番に再生（→ P.37）	I

＊音声録音、FM 録音、外部オーディオ機器／外部マイクからの録音で生成された REC ファイルはシャッフル／ランダム再生できません

A-B 区間リピート

ボタン操作 音楽再生中に A-B ボタン

指定した区間を繰り返し再生する機能です。

❶音楽の再生中に **A-B** ボタンを押して、開始点（A）を指定します。

❷もう一度 **A-B** ボタンを押して、終点（B）を指定します。

画面に「A-B」が表示され、指定した A-B が繰り返し再生されます。
区間リピート再生を解除するときは「A-B」ボタンを押します。

EQ（イコライザ）で音質を設定する

ボタン操作 音楽再生中に A-B ボタン長押し

❶音楽の再生中に **A-B** ボタンを長押しして、EQ 選択画面を表示します。

❷**A-B** ボタンを繰り返し押して変更したい EQ を選びます。

イコライザの種類は下記の通りです。

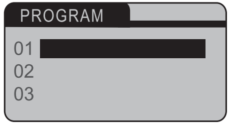
Normal	癖のない標準的な設定
Classic	クラシック音楽に適した設定
Rock	ロックに適した、ボーカルを強調する
Jazz	ピアノの音を美しく、透明感ある音質
Ubass	バス音域が強調され、重低音を楽しめる
Metal	歪みを強調する
XtrmEQ	「サウンド設定」で変更したカスタム EQ を使用する（→ P.38）
3D	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード ＊ 3D を選択した場合のエフェクトの種類を、［サウンド設定］の［SRS 設定］で設定します。（→ P.38）

プログラムモード（プレイリスト）を利用する

お気に入りの曲をまとめて聴くことができます。

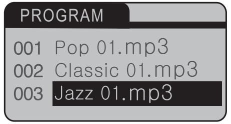
■プログラム（プレイリスト）に曲を追加する

❶再生を停止し、**A-B** ボタンで「プログラム」モードを表示します。



❷**＋** ／ **－** ボタンでリストに追加したい番号にカーソルを移動し、⚙ ボタンで決定します。

❸リストに追加したい曲を選んで、**A-B** ボタンで決定します。



＊フォルダ内のすべてのファイルをリストに保存するには保存するフォルダを選択し、「A-B」ボタンを押すと、そのフォルダ内のすべてのファイルが保存されます。

■プログラム（プレイリスト）から曲を削除する

❶再生を停止し、**A-B** ボタンで「プログラム」モードを表示します。

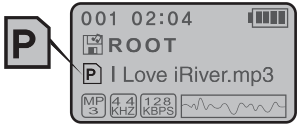
❷ 削除したいファイルを選び、**A-B** ボタンを押します。

❸●ボタンを押して、選択したファイルを削除します。

＊プログラム（プレイリスト）に追加した曲をまとめて削除するには、**A-B** ボタンを長押しします。

■プログラム（プレイリスト）を再生する

❶ ▶\■ ボタンで「プログラム」モードを表示します。



＊プログラムモードのアイコンが表示されます。

■プログラム（プレイリスト）を再生する

❶再生を停止し、 **－** ボタンを押します。

＊プログラムモードが解除され、通常再生がスタートします。

■プログラム（プレイリスト）の再生モードを変える

❶音楽の再生中に●ボタンを押して、再生モード選択画面を押します。

❷設定したいモードになるまで、繰り返し●ボタンを押します。

再生モードの種類は下記の通りです。

すべての曲をリピート再生	A
1 曲をリピート再生	1
イントロ：各曲の最初の 10 秒を順番に再生（→ P.37）	I

プレーヤー内のファイルを削除する

❶再生を停止し、⚙ボタンを押して、楽曲リストを表示します。
❷＋／－ボタンで削除したいファイルにカーソルを移動し、●ボタンで決定します。
❸「FILE DELETE ARE YOU SURE?」と確認のメッセージが表示されたら、⏮／⏭ボタンで「YES」を選択し、で決定します。

プレーヤー内のフォルダを削除する

❶再生を停止し、⚙ボタンを押して、楽曲リストを表示します。
❷＋／－ボタンで削除したいフォルダにカーソルを移動し、●ボタンで決定します。
❸「FOLDER DELETE ARE YOU SURE?」と確認のメッセージが表示されたら、⏮／⏭ボタンで「YES」を選択し、⚙ボタンで決定します。

＊削除できるのは、空のフォルダのみです。

FM 放送を聴く

FM 放送を受信する　ボタン操作 ●ボタン長押し→「FM RADIO」

●ボタンを長押しして、メニューから「FM RADIO」を選択し、⚙ボタンを押します。

＊ F700 はイヤホンコードをアンテナとして使用します。受信状態を良くするためにイヤホンコードはなるべく長く伸ばしてお聴きください。

＊電波の弱い地域では、一部の放送をご利用になれないか、受信状態が悪い場合があります。

■手動での選局

❶⚙ボタンを押して、プリセットモードを解除します。

プリセットモード	あらかじめ登録した放送局から選ぶ（画面に「Preset」が表示）
プリセット解除	手動で周波数を合わせる（画面に「Preset」が非表示）

❷⏮／⏭を押して、放送局の周波数に合わせます。

＊⏮／⏭を短く押して放すと、周波数を 0.1MHz ずつ変更します。
⏮／⏭を長押しすると、受信可能な放送が見つかるまで、自動的に周波数を変更しつづけます。

■プリセットモードでの選局

❶⚙ボタンを押して、プリセットモードを選択します。
❷⏮／⏭を押して、プリセットした放送局の中から選びます。

＊⏮／⏭を押すごとに、プリセットした放送局を切り替えます。

■受信中の基本操作

▶\■：ステレオ／モノラルが切り替わります。
＋／－：音量の調節

よく聴く放送局を登録する（プリセット）

プリセットには最大 20 局まで登録できます。

■自動でプリセットを登録する（オートプリセット）

ボタン操作　**FM 放送受信中 A-B ボタンを長押し**

FM 放送の全周波数を検索して、受信できた放送を順次プリセットに登録します。

❶FM 放送の受信中に、⚙ ボタンを押して、プリセットモードを解除します。

＊プリセットモードを解除すると、「Preset」の表示が消灯します。

❷**A-B** ボタンを長押しします。

オートプリセットが開始されます。

＊オートプリセット中に⚙ボタンを押すと中断します。

❸オートプリセットが終了すると、「CH01」に登録された放送局を受信します。

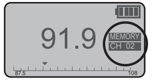
■手動でプリセットを登録する

ボタン操作　**FM 放送受信中 A-B ボタンを押し、[チャンネル保存]**

❶FM 放送の受信中に、⚙ ボタンを押して、プリセットモードを解除します。

＊プリセットモードを解除すると、「Preset」の表示が消灯します。

❷登録したい放送局に周波数を合わせてから、**A-B** ボタンを押します。



「チャンネル番号」画面が表示されます。

❸⏮／⏭ボタンで任意のチャンネル番号に移動します。

❹再度**A-B** ボタンを押して決定します。

❺選択したプリセットチャンネルに、受信中の放送局が登録されます。

登録したプリセットを削除する

プリセットには最大 20 局まで登録できます。

❶FM 放送の受信中に、⚙ ボタンを押して、プリセットモードに設定します。

＊プリセットモードにすると、「Preset」が表示されます。

❷⏮／⏭ボタンで削除するチャンネル番号に移動します。

❸**A-B** ボタンを長押しすると、チャンネルが削除されます

＊チャンネルが削除されると、次のチャンネルを受信します。チャンネルをまとめて削除したいときは、A-B ボタンを長押しします。

録音する

> 次のような状況では FM 放送録音、音声録音ができません
> 画面に「00：00：00」が表示されるときはメモリの空き容量がありません。ファイルやフォルダを削除して開きスペースを作って録音してください。
> 空き容量が不足している／バッテリが不足している

FM 放送を録音する

ボタン操作 FM 放送受信中●ボタンを押す

❶ FM 放送の受信中に、●ボタンを押して録音を開始します。

録音中に ▶\■ ボタンを押すと、録音が一時停止／再開されます。

❷●ボタン押して録音を終了します。

＊録音を開始すると、録音ファイルが自動的に作成されます。
ファイル名は TYYMMDDXXX.Rec（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。（→ P.30）
録音中は音量の調節ができません。
「Tuner Recording Mode」で録音品質を設定できます。

■録音した FM 放送のファイルを再生する

❶●ボタンを長押しして、メニューから「MP3」を選択し、⚙ ボタンを押します。

❷⏮／⏭／＋ ／ － ボタンで「RECORD」フォルダ内のファイルを選択し、⚙ ボタンを押して再生します。

■録音した FM 放送のファイルを削除する

❶●ボタンを長押しして、メニューから「MP3」を選択し、⚙ ボタンを押します。

❷⏮／⏭／＋ ／ － ボタンで「RECORD」フォルダ内のファイルを選択し●ボタンを押します。

❸確認のメッセージが表示されるので、「YES」を選び⚙ ボタンを押します。

＊ファイルの再生中は削除できません。

内蔵マイクで音声を録音する

ボタン操作 ●ボタン長押し→「VOICE」

❶●ボタンを長押しして、メニューから「VOICE」を選択し、⚙ボタンを押します。

❷「Ready Record」と表示されたら●ボタンを押します。

録音中に ▶\■ ボタンを押すと、録音が一時停止／再開されます。

❸●ボタン押して録音を終了します。

＊録音を開始すると、音声ファイルが自動的に作成されます。
ファイル名は VYYMMDDXXX.Rec（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。（→ P.30）
録音中は音量の調節ができません。
「Voice Recording Mode」で録音品質を設定できます。

■録音した音声ファイルを再生する [1]

録音を停止した直後、▶\■ボタンを押して再生します。

■録音した音声ファイルを再生する [2]

❶●ボタンを長押しして、メニューから「MP3」を選択し、⚙ ボタンを押します。

❷⏮／⏭／＋ ／ － ボタンで「VOICE」フォルダ内のファイルを選択し、⚙ ボタンを押して再生します。

■録音した音声ファイルを削除する

❶●ボタンを長押しして、メニューから「MP3」を選択し、⚙ ボタンを押します。

❷⏮／⏭／＋ ／ － ボタンで「VOICE」フォルダ内のファイルを選択し●ボタンを押します。

❸確認のメッセージが表示されるので、「YES」を選び⚙ ボタンを押します。

＊ファイルの再生中は削除できません。

外部オーディオ機器／外部マイクから録音する

CD ラジカセやコンポなどのオーディオ機器とプレーヤーを接続して、パソコンを使わずに音楽を取り込みます。外部マイクとプレーヤーを接続して録音すると高音質で録音することができます。

準備 オーディオケーブルを使い、プレーヤーの Line-in 端子（ ）とオーディオ機器の Line-out 端子を接続しておきます。

> 外部オーディオ機器から録音する場合、録音ソースをあらかじめ設定します
>
> ❶ ⚙ボタンを長押しして、設定メニューを開きます。
> ❷ ⏮／⏭ボタンで「Control」を選択します。
> ❸ ＋／−ボタンで「LINE-IN/EXIT.MIC」を選択します。
> ❹ ⏮／⏭ボタンで「Line-in（外部オーディオ機器)」もしくは「Ext.Mic（外部マイク)」を選択し、⚙ボタンで決定します。

❶●ボタンを長押しして、メニューから「LINE IN」を選択し、⚙ボタンを押します。

❷「READY RECORD」と表示されたら●ボタンを押します。

録音中に ▶\■ ボタンを押すと、録音が一時停止／再開されます。
録音中に＋／−ボタンで録音レベルが調節できます。

❸●ボタン押して録音を終了します。

＊録音を開始すると、音声ファイルが自動的に作成されます。
録音したファイルは RECORD フォルダに保存されます。
外部オーディオ機器で録音されたファイル名は、AYYMMDDXXX.Rec（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）という形式になります。
外部マイクを仕様して録音されたファイル名は、EYYMMDDXXX.Rec（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）という形式になります。
［LINE IN RECORDING MODE］ライン入力設定により､録音品質を設定することができます。(→ P.36)
［LINE IN RECORDING VOLUME］入力ボリュームの設定により、録音のボリュームのレベルを調節できます。(→ P.36)
［Line-In Auto Sync］曲間自動分割の設定により、無音状態を曲の区切りととらえて、曲単位にファイルを分割して録音できます。(→ P.36)

■録音した音声ファイルを再生する [1]

録音を停止した直後、▶\■ボタンを押して再生します。

■録音した音声ファイルを再生する [2]

❶●ボタンを長押しして､メニューから「MP3」を選択し､⚙ボタンを押します。

❷⏮／⏭／＋／−ボタンで「RECORD」フォルダ内のファイルを選択し、⚙ボタンを押して再生します。

■録音した音声ファイルを削除する

❶●ボタンを長押しして､メニューから「MP3」を選択し､⚙ボタンを押します。

❷⏮／⏭／＋／−ボタンで「RECORD」フォルダ内のファイルを選択し●ボタンを押します。

❸確認のメッセージが表示されるので､「YES」を選び⚙ボタンを押します。

＊ファイルの再生中は削除できません。

録音したファイルをパソコンで管理する

F700 で録音したさまざまな録音ファイルをパソコンに保存すると、パソコン上で再生したり、ファイル名を分りやすく変更することができます。

❶iriver Music Manager を起動します。
❷パソコンと F700 を付属の USB ケーブルで接続します。
❸パソコンに保存したい録音ファイルを選択し、画面右側から左側のデスクトップアイコンにドラッグ & ドロップします。
❹ファイル変換ウィザードが表示されますので、そのまま「次へ」を選択します。
❺「変換後ファイルを削除」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。
❻「完了ボタン」を押してパソコン上への保存が完了します。

＊パソコンへの保存後、プレイヤー内のデータを削除することを推奨します。そのままの状態にしておくと、使用領域が減りませんのでご注意下さい。

各種の設定変更

利用スタイルやお好みに合わせて、各種の設定を変更できます。
〈注意〉設定メニューは、ファームウェア（プレーヤーの基本ソフト）のバージョンによって異なる場合があります。
設定メニューは下図のように２階層で構成されています。

General
- RESUME（レジューム）
- LANGUAGE（言語設定）
- LOAD DEFAULT（初期設定に戻す）

Control
- FAST SKIP（スキップ）
- SCAN SPEED（早送り/巻戻し速度）
- VOICE RECORDING MODE（音声録音モード）
- VOICE AUTO DETECTION（音声自動認識）
- TUNER RECORDING MODE（FM録音モード）
- LINE IN RECORDING MODE（ライン入力モード）
- LINE IN RECORD VOLUME（ライン入力ボリューム）
- LINE IN AUTO SYNC（ラインオートシンクロ）
- LINE IN/EXT.MIC（外部マイク設定）
- ADJUST PLAYBACK SPEED（スピードコントロール）

Display
- BACK LIGHT（バックライト）
- LCD CONTRAST（LCD画面コントラスト）
- VISUALIZATION（ビジュアル）
- SCROLL SPEED（スクロール速度）
- TAG INFORMATION（タグ情報）
- PLAYTIME INFO（再生時間表示）
- BATTERY SELECT（バッテリ選択）

Mode
- REPEAT MODE（リピートモード）
- SHUFFLE MODE（シャッフルモード）
- INTRO MODE（イントロモード）
- STUDY MODE（学習モード）
- NAME（名前）

Timer
- SLEEP POWER OFF（スリープ電源オフ）
- STOP POWER OFF（停止時電源オフ）
- SET TIME（時間設定）
- ALARM/RECORD SELECT（アラーム/録音選択）
- SET ALARM（アラーム設定）
- TUNER RESERVATION（FM録音予約）

Sound
- Xtreme EQ
- Xtreme 3D
- DBE SETTING
- 3D EQ SETTING
- SOUND BALANCE（サウンドバランス）
- EQ LIMIT（EQ制限）
- EQ SELECT（EQ選択）
- BEEP VOLUME（ビープボリューム）
- FADE IN（フェードイン）

General

Resume（レジューム）

電源オフ、再生を停止した後、ふたたび再生するときに、直前に再生していた曲から開始される。
ON：有効／ OFF：無効
※ F700 で録音した外部オーディオ機器／外部マイクから録音した REC ファイルはレジューム機能は使用できません。

Language（言語設定）

設定メニューの表示言語を 40 種類から選択する。
初期設定は JAPANESE 、アルファベット順に国名が表示される。

Load Default（初期設定に戻す）

設定メニューで設定した内容を出荷時の状態に戻す。
設定を初期化したあとは、自動で再起動されます。
初期設定に戻しても、プレーヤーに保存されたデータが削除されることはありません。

Display

Back Light（バックライト）

画面のバックライトの点灯継続時間を設定する。時間を短く設定することにより、バッテリを節約できる。
SEC：バックライトの点灯秒数（0 ～ 30）／ MINUTE：（0 ～ 30）

LCD Contrast（LCD 画面コントラスト）

画面のコントラスト（明暗の差）を調節する。

Visualization（ビジュアル）

再生中に各種ビジュアル機能、曲の経過時間、およびプレーヤーの空き容量を表示する。
WAVE FORM ／ LEVEL METER ／ PROGRESSIVE ／ FREE SPACE ／ CLOCK

Scroll Speed（スクロール速度）

文字情報（曲名、アーティスト名）のスクロールタイプとスクロール速度を調節する。
TYPE：VERTICAL（垂直）／ HORIZONTAL（水平）
SPEED：1 ×（1 倍）／ 2 ×（2 倍）／ 4 ×（4 倍）

Tag Information（タグ情報表示）

ON：タグ情報もしくは歌詞を表示する
OFF：タグ情報を表示しない（ファイル名のみが表示される）
タグ情報がない曲の場合は、ファイル名のみの表示となります。

Playtime Information（再生時間情報）

NORMAL：経過時間を表示
REMAIN：残り時間を表示
可変ビットレート形式でエンコードされたファイルの時間表示は正確でない場合があります。

Battery Select（バッテリ選択）

使用する電池の種類（乾電池または充電池）を選択する。
選択した電池のタイプに合わせて電池残量が表示される。
アルカリ乾電池：ALKALINE ／充電池：RECHARGEABLE を選択してください。

Timer

Sleep Power Off（スリープ電源オフ）

電源がオフになるまでの時間を 1 ～ 180 分の範囲で 1 分単位で設定する
Beep ON：電源がオフになる 1 分前に警告音が鳴る
Beep OFF：警告音は鳴らない
電源がオフになると、スリープタイマーは 0 にリセットされます

Stop Power Off（停止時電源オフ）

一定時間、再生が停止されていると電源が自動的にオフになる設定
1 ～ 60 分の範囲で 1 分単位で設定する
MP3 モード以外のモードでは動作しません

Set Time（日付と時刻）

現在の日付と時刻を設定する。
＋／－で年月日を変更し、⏮／⏭で前、次項目に移動します。⚙ボタンで決定します。

Alarm/Record Select（アラーム / 録音選択）

アラームまたは FM タイマー録音を有効にする設定
OFF：アラーム /FM 録音の設定を解除する
ALARM：アラームの設定を有効にする
TUNER RECORD：FM タイマー録音の設定を有効にする
〈注意〉アラームと FM タイマー録音を同時に使用することはできません。

Set Alarm（アラーム設定）

アラームが作動する時刻と繰り返しの設定をする。
ALL（毎日）／ SUN-SAT（日～土）

Tuner Reservation（FM 録音予約）

録音する放送局と時刻を設定する。設定が有効である限り、毎日同時刻に FM ラジオの録音が開始される。
設定可能な曜日：ALL（毎日）／ SUN-SAT（日～土）

Control

Fast Skip（スキップ）

再生中に⏮または⏭ボタンで移動するスキップの設定
一回⏮または⏭ボタンを押し、次に⏮または⏭ボタン v を長押しして実行
OFF：無効／ 10：一度に 10 曲スキップ／ DIRECTORY：前または次のフォルダにスキップ

Scan Speed（早送り / 巻戻し速度）

早送りや巻戻しの速度を設定する。
1X ／ 2X ／ 4X（倍速）（1 が通常のスピード）

Voice Recording Mode（音声録音モード）

音声録音の音質を設定する。
ビットレート：8 ～ 160Kbps
サンプリング周波数：11.025 ～ 44.1KHz
ACG ON ／ ACG OFF：音声録音のレベルが自動的に制御され、遠く離れた場所の音も自然に録音される（自動入力制御機能）

Voice Auto Detection（音声自動認識）

無音のときは録音が自動的に一時停止、音を感知すると録音を再開する。これにより、自動で音がある時だけ録音でき、メモリの節約ができる。
OFF（音声自動認識の設定をしない）
Voice Auto Detection（上のスライダー）：録音の開始に足りる音の相対レベル
Voice Pause Time（下のスライダー）：録音が一時停止されるまでの無音状態の秒数

Tuner Recording Mode（FM 録音モード）

FM 録音の音質を設定する。
ビットレート：8 ～ 320Kbps
サンプリング周波数：11.025 ～ 44.1KHz

Line-In Recording Mode（ライン入力モード）

外部オーディオ機器から録音するときの録音の音質を設定する。
ビットレート：8 ～ 320Kbps
サンプリング周波数：11.025 ～ 44.1KHz

Line-In Record Volume（ライン入力ボリューム）

外部機器から録音するときの録音レベルを設定する。

Line-In Auto-Sync（ラインオートシンクロ）

ライン入力録音中に設定した秒数の無音状態があると、その部分で音楽ファイルを区切り、音を感知すると新しいファイルで録音が再開される。曲単位に分割して録音が可能。
OFF：無効／ 1 ～ 10 秒：無音状態の継続時間の設定

Line-in/Ext. Mic（ライン入力／外部マイク）

録音ソースを設定する
Line-In：ライン入力録音／ Ext. Mic：外部マイク録音

Adjust Playback Speed（スピードコントロール）

再生速度を設定する（語学学習に有効）。
－ 9（遅い）～ +9（速い）の範囲（0 が通常の再生スピード）
レベル 1 段階につき再生速度は約± 2.7% 変化します。
OGG ファイルはスピードコントロール設定変更に対応しておりません。

Mode

Repeat Mode/Shuffle Mode（リピート / シャッフルモード）

リピート、シャッフルの再生モードを設定する（→ P.19）

Intro Mode（イントロモード）

ON：各曲の最初の 10 秒を順番に再生
Highlight ON：各曲の 1 分からの 10 秒を順番に再生

Study Mode（学習モード）

再生中に⏮ または⏭ ボタンで移動する時間を設定（語学学習に有効）。
OFF：無効
1 ～ 180 秒の範囲で設定（10 秒以降は 10 秒単位で設定

名前設定

プレーヤーの電源を入れたときの画面に、設定した文字が表示される。
⏮ ／⏭ で文字を選択して、⚙ ボタンで決定
＋／－で入力位置を左右に移動します。入力した文字を削除するときは●を押します。
文字種（カナ／英数字／記号）を切り替えるときは A-B を長押しします。
スペースは数字の「9」と「!」のあいだのスペース記号で入力。
▶\■ ボタンを長押しして設定を終了します。

Sound

Xtreme EQ
サウンドを好みに応じて調節できる。
周波数帯ごとにレベル調整して独自の音響効果を設定する。
周波数レベル -15dB ～ +15dB まで 3dB ごとに設定する。

Xtreme 3D
3D サウンドのレベル（Minimum、Natural および Maximum）を調節する。
DBE または 3D EQ を選択して、3D サウンドを拡張できる。

DBE Setting（DBE 設定）
DBE（Dynamic Bass Enhancement）は Xtreme 3D の使用時に機能し、サウンドの中低域の周波数を強調する。
Bass Center Band（帯域 1 ～ 4）を 0 ～ 15dB まで 3dB ごとに設定。

DBE Setting（3D EQ 設定）
3D EQ を使用するには EQ を「Xtreme 3D」に設定します。
5 つの周波数帯域ステップがあり、を -15 ～ +15dB まで 3dB ごとに設定。

Sound Balance（サウンドバランス）
サウンドのバランスを右、左、中央に設定変更する。
初期設定は 0 でサウンドがイヤホンの両方から同じレベルで出力されます。

EQ Limit（EQ 制限）
イコライザ周波数の制御を制限し、音声のゆがみを防止する
ON：有効／ OFF：サウンドにゆがみが生じる場合がある

EQ Select（EQ 選択）
各種カスタム EQ を選択できる。イコライザの種類は下記の通りです。

Classic	クラシック音楽に適した設定
Rock	ロックに適した、ボーカルを強調する
Jazz	ピアノの音を美しく、透明感ある音質
Ubass	バス音域が強調され、重低音を楽しめる
Metal	歪みを強調する
Xtrm 3D	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード
Xtrm EQ	「サウンド設定」で変更したカスタム EQ を使用する

Beep Volume（ビープボリューム）
警告音のオン／オフと音量の設定
OFF：0

Fade in（フェードイン）
再生時に徐々に音量が大きくなるように設定する。突然の大音量を防ぐことができる。

ファームウェアアップグレード

ファームウェアとは？

ファームウェアとは、F700 を動かすための基本ソフトウェアです。
iriver 社では、F700 に新機能を追加したり、使いやすさを向上させるため、ファームウェアアップグレードを提供します。

困ったときは

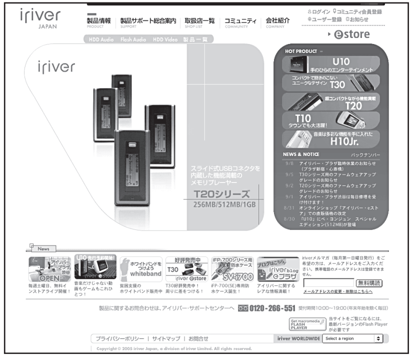
トラブルシューティング

困ったこと	対処方法
電源がオンにならない	電池残量が不足していないか確認してください。
電源が入らなくなった、プレーヤーが反応しなくなった。	一度電池を抜いてからプレーヤーを再起動してください。
音楽をプレーヤーに転送できない	オーディオ CD から直接プレーヤーに音楽ファイルを転送することはできません。パソコンに録音し、iriver Music Manager を使って転送してください。詳しくは iriver Music Manager の取扱説明書をご覧ください。
	F700 直下（ROOT）に、約 100 以上のファイルを転送した場合、「writing file」と表示され、転送できなくなります。この場合は任意でフォルダを作成し、そこにファイルを格納してください。
音楽ファイルの転送に失敗する	電池残量を確認してください。また、パソコンとしっかり接続されているか確認してください。
ボタンが操作できない	ホールドスイッチがロック状態になっていると、ボタン操作はできません。ホールドスイッチのロックを解除してください。
iriver Music Manager のインストールができない	管理者（Administrator）権限のあるアカウントでログオンしてからインストールを行ってください。

困ったこと	対処方法
ラジオの受信状態が悪く、雑音がひどい	周辺にある電気機器の電源を入れたときに雑音がする場合は、電気機器から離れたところで動作してみてください。
	イヤホンのコードはラジオ受信中のアンテナの役割をします。イヤホンがプレーヤーに接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
音楽配信サイトで購入した楽曲が再生できない	音楽配信サービスで購入した楽曲をアイリバーのプレーヤーで再生するには、ファイル形式が「WMA 形式」であることが条件となります。 ※再生対応ファイルは Windows Media Audio V7 コーデック以降の WMA ファイルになります。 Yahoo! ミュージック、Mora、Sony Music Online（bitmusic）、iTunes Music Store から購入された楽曲の再生には対応いたしておりません。
WMA ファイルが再生できない	WMA ファイルに著作権保護がかけられている可能性があります。ライセンス情報を正しく転送してください。ライセンス情報は Windows Media Player で確認できます。
iTunes で録音した音楽ファイルが再生できない	iTunes の標準設定で作成された形式の音楽ファイル（AAC）の再生には対応いたしておりません。 iTunes メニューの［編集］―［設定］―［詳細］タブ―［インポート］タブ―［インポート方法］を［MP3 エンコーダ］に変更して、再度オーディオ CD からインポート（録音）を行ってください。
録音ファイルがレジューム再生されない、シャッフル／リピート機能が使えない	「VOICE」または「RECORD」フォルダ以外にファイルを移動することで、レジューム再生が可能になります。→ P.30

ユーザーサポート　http://www.iriver.co.jp

iriver の Web サイトの「製品サポート総合案内」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。



■ユーザー登録のお願い

効率よいサポートを受けていただくために、お買い上げいただきました製品のユーザー登録を iriver ホームページでお済ませください。iriver ホームページには、iriver 製品についての最新情報や技術サポートなどの役立つ情報が満載。機能の拡張や改良された機能のアップグレードサービスも無償で受けることができます。

困ったときは

1. 製品保証書の記入事項

本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。
製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本書の「困ったときは（P.40）」、iriver の Web サイト (http://www.iriver.co.jp) の Q&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー・ジャパン サポートセンターまでご相談ください。

3. 付属品・オプション（別売）をお求めの場合

付属品やオプション（別売）のご購入を希望される方は、アイリバー・ジャパン サポートセンターの通販窓口までお問い合わせください。
直販サイト（http://www.iriver.co.jp/estore/）でもご購入いただけます。

アイリバー・ジャパン サポートセンター　0570-002-220

受付時間：**月〜金**（祝祭日・年末年始を除く）**10:00〜18:00** ホームページアドレス：http://www.iriver.co.jp	E-mailでのお問い合わせは ホームページのメールフォームを ご利用ください

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

仕様

メモリ	4GB*
モデル No.	F700 4GB

* メモリの一部をシステム領域として使用しているため、搭載しているメモリすべてを記憶領域として利用できるわけではありません。

分類	項目	仕様
オーディオ	周波数範囲	20Hz ～ 20KHz
	ヘッドホン出力	(L) 18mW＋(R) 18mW (16Ω) ／ (L) 12mW＋(R) 12mW (32Ω)
	S/N 比	90 dB（MP3）
FM ラジオ	周波数特性	± 3 dB
	チャンネル数	ステレオ（左右）
	FM 周波数範囲	76.0MHz ～ 108MHz
	S/N 比	60dB
	アンテナ	ヘッドホン／イヤホンのコードアンテナ
ファイルのサポート	ファイルタイプ	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG
	ビットレート	MP3 ※ : 8 ～ 320Kbps、WMA: 8 ～ 128Kbps OGG : 44.1KHz、96 ～ 225Kbps
	タグ情報	ID3 VI、ID3 V2.2.0、ID3 V2.3.0、ID 3 V2.4.0
音声録音	最大録音時間	約 279 時間（32Kbps）
本体	寸法	約 87(W) × 32(D) × 26.7(H)mm
	重量	37g（電池を除く）
	画面	バックライトつき 4 行表示グラフィック LCD
	言語	40 言語
一般仕様と作業環境	バッテリ	単 3 形アルカリ乾電池 1 本
	動作温度	-5℃～ 40℃
	連続再生時間	約 40 時間 （128Kbps、MP3、ボリューム 20、EQ Normal、画面 オフ）

※可逆圧縮の WMA 形式には非対応

F700

iriver

http://www.iriver.co.jp

F700 /2007.03